



根室と黒部をつなぐ架け橋となれたら



友情の輪が広がったホームビジット

# 輝くねむろ

We Love Nemuro!

「新しい環境で仕事への考  
え方を見つめ直し、職員とし  
ての資質を高めたい。」熱く  
決意を語るのは、4月から黒  
部市との間で実施されている  
相互派遣交流で、根室市に勤  
務する中山助利さんです。

「根室ってどんなところやろ。」  
という、純粋な好奇心に駆ら  
れた中山さん。「根室の皆さ  
んは、とても優しく温かい声  
をかけてくれます。新鮮な海  
の幸も最高です。」と、すっか  
り根室にはれ込んでいます。  
根室に来て2カ月後、中山  
さんにビザなし交流で色丹島  
を訪問する機会が訪れました。  
北方領土問題にも関心を持っ

ていた中山さんには、思いも  
よらない体験となりました。

この訪問で、言葉や文化の  
壁を越えた交流ができたこと  
を、笑顔で話してくれました。  
島の暮らしが少しずつ発展し  
ていることや、日本に関心を  
持つて日本語を学ぶ学生の多  
さなど、島の様子を肌で感じ、  
北方領土問題への関心がさら  
に高まったようです。

「体験した根室市の魅力を  
黒部の皆さんにも伝え、両市  
がさらに身近に感じられるよ  
うにしたい。」と、1年間とい  
う短い期間のねむろびととな  
りますが、黒部市との友好の  
絆を一層深めてくれそうです。

なか やま すけ とし  
profile 中山助利さん

富山県黒部市職員（相互派遣交流により根室市勤務）

1980年富山県黒部市生まれ。2003年旧宇奈月町へ入庁。2006年3月31日黒部市との合併で、黒部市職員となる。2010年4月姉妹都市である黒部市との「相互派遣交流」が初めて実施され、根室市商工観光課の勤務となる。趣味はドライブ、スキー、読書。

## 図書館 からの おくりもの

嘱託司書 浅野正弘  
図書館 TEL (23)5974番



根室港に着水したドルニエ・ワール飛行艇

### 根室開港100周年と飛行艇初の世界一周

6月1日に、根室開港100周年の記念式典が催されました。これからも、さまざまな行事が予定されています。

開港100年の歩みにおいて、昭和6年にリンドバーグ夫妻の水上機「シリュウス号」での根室港への着水がよく知られています。翌年には、ドイツのグロナウ大尉等が乗ったドルニエ・ワール飛行艇がドイツを出発し、大西洋を越えカナダ・アラスカ・パラムシル島（千島列島）を経て、9月3日午前10時52分根室港に着水しました。

港にはたくさんの方が、手に日本やドイツの旗を持って出迎え、当時の公会堂（現ときわ台公園）で歓迎会を催しました。通訳は、根室商業（現根室高校）の先生が対応したということです。

乗組員はリンドバーグ夫妻と同じく落石無線局を訪れ、アリューション列島以後の無線誘導の礼を述べ、記念撮影をしてビールで乾杯したそうです。そして、4日午前10時13分、霞ヶ浦を目指し飛び立ちました。その後、ドルニエ・ワール飛行艇は日本を出発。アジア各地を経由し、飛行艇による最初の世界一周飛行を達成しました。根室港は、まさに記念すべき通過点としての歴史を刻んでいました。